

【管理運営状況公表様式】

平成29年度 青森県立はまなす医療療育センターの管理運営状況

県所管課	健康福祉部障害福祉課
指定管理者	日本赤十字社 社長 近衛 忠輝
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
施設等の維持管理業務	土地、建物、附属設備及び備品の維持管理を適正に行った。
施設の設置目的に即した業務	青森県療育福祉・医療療育センター条例に基づく、肢体不自由児、重症心身障害児及び障害者等の施設入所、通所及び短期入所業務の運営並びにそれらに伴う使用料の徴収業務を適切に行った。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画（目標）	実績	計画対比	前年度対比
第二病棟（重心） の一日平均入院 利用者数	H20	—	26.8	—	101.9
	H21	—	26.8	—	100.0
	H22	—	27.1	—	101.1
	H23	29.0	29.4	101.4	108.5
	H24	31.0	28.8	92.9	98.0
	H25	31.0	30.2	97.4	104.9
	H26	32.0	27.9	87.2	92.4
	H27	29.9	26.4	88.3	94.6
	H28	30.9	28.3	91.6	107.2
	H29	31.9	27.3	85.6	96.5
【増減理由】 効果的療育が望まれる重症心身の障害をもつ幼児・未就学児に対し、積極的な入所を推奨したものの、目標未達成となった。					
第一病棟（肢体）・ 第二病棟（重心） の一日平均入院 利用者数	H27	62.8	60.9	96.9	—
	H28	64.8	63.0	97.2	103.4
	H29	66.8	65.0	97.3	103.2
【増減理由】 保育所訪問や外来等において幼児・未就学児の情報収集を行い、効果的な療育が望まれる児に対し、積極的に入所を推奨したことから、目標は未達成であるが、対前年度実績では3.2%増加した。					

3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	福祉オンブズマンと契約し、相談窓口を設置する、利用者からのアンケート調査を実施する等、利用者からの要望の汲み上げに努めており、サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	施設内に案内板及び情報掲示場所を設け利用者への情報提供を行っているほか、広報誌の発行などにより対外的なPR活動を行うなどの取組みが適切に行われている。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	3	利用者が快適に利用できるよう施設及び備品の清掃が行き届いており清潔に保たれている。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	防災体制管理マニュアル、医療安全指針を定め、緊急時の対応・安全管理体制が構築されているとともに、不審者対応訓練を実施するなど、危機管理が適切に行われている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	3	経費節減に努め、執行も適正に行われている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	4	4	第一病棟（肢体）・第二病棟（重心）の一日平均入所利用者数は成果目標には達していないものの、単年度目標である「前年度に対する増加目標2名」は達成している。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか。	3	3	個人情報の安全管理マニュアルを策定し、個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを適切に行っている。
⑧業務改善計画の達成状況	—	4	経営改善に向けた取組が計画通りに行われ、一般会計繰入金の数値目標を達成した。 ・目標数値：87,411千円 ・実績数値：75,720千円（▲11,691千円）
総合評価	3	3	「利用者一人一人の個性を大切にし、その個性を伸ばし、またご家族の気持ちに配慮しながら仕事を進めてゆく」という事業計画策定時の基本的考えに基づき、施設の維持管理及び設置目的に即した業務に適切に取り組んでいると認められる。 また、管理業務改善計画に定めた成果目標の達成に向け、経営改善に努めている。

○評価基準

- 5（秀）：業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている
- 4（優）：業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている
- 3（良）：業務水準書等の内容が満たされている
- 2（可）：業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する
- 1（不可）：業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する